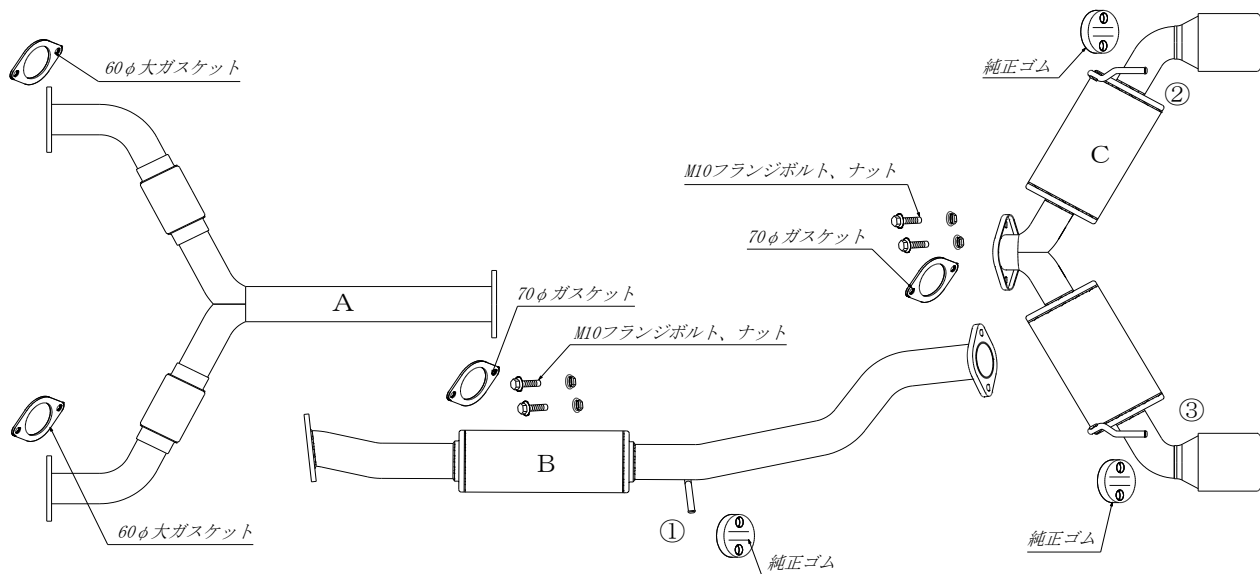


SPECIAL

新規制対応

製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式	備考	構成部品及び付属品リスト																		
SPECIAL	SP1005-N	フェアレディーZ	3BA-RZ34	R4/8~	VR30DDTT	MT	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体(A)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本体(B)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本体(C)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取扱説明書</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ガスケット60大</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ガスケット70φ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>フランジボルト(M10X35)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>フランジナット(M10)</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	品名	数量	本体(A)	1	本体(B)	1	本体(C)	1	取扱説明書	1	ガスケット60大	2	ガスケット70φ	2	フランジボルト(M10X35)	4	フランジナット(M10)	4
品名	数量																								
本体(A)	1																								
本体(B)	1																								
本体(C)	1																								
取扱説明書	1																								
ガスケット60大	2																								
ガスケット70φ	2																								
フランジボルト(M10X35)	4																								
フランジナット(M10)	4																								



最低必要工具

メガネレンチ	12mm14mm
ソケットレンチ	12mm14mm
トルクレンチ	

★ご注意ください。
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外になります。
取付される前に必ずご確認ください。

組付作業手順

警告！

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※ 装着作業は必ず2名以上で行なってください。
※ 文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- 「本体(A)の仮組付け」
純正触媒のフランジと本体(A)の前側フランジ間に、付属ガスケット60φ大を挟み、純正ナットを再使用して仮締め付けして下さい。
- 「本体(B)の仮組付け」
本体(B)の取付けブラケット①を吊下げラバーステーにしっかりと差込んで、次に、本体(A)の後方フランジと本体(A)の前側フランジ間に付属ガスケット70φを挟み、前側から付属フランジボルト(M10X35)を差込み、反対側から付属ナット(M10)で仮締め付けして下さい。
- 「本体(C)の仮組付け」
取付けブラケット②③④を純正吊下げラバーステーにしっかりと差込んで下さい。
次に、本体(B)の後側フランジと本体(C)のフランジの間に付属ガスケット70φを挟み、前側から付属フランジボルト(M10X35)を差込み、反対側から付属ナット(M10)で仮締め付けして下さい。

- 「全体の本組付け」
本体(A)(B)(C)の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(締め付けトルク400~500kgf・cm)

※ テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

- 「装着状態の確認」
全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認して下さい。エンジンを始動して暖気し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検して下さい。異常があれば最初からやり直して下さい。
《面倒でも必ず最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。
もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い！ 装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。